

令和8年度朝日町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

朝日町では、稲作を中心とした農業が行われており、主に水田を基盤にした作物が栽培されています。需要に応じた米穀の生産に伴い、担い手農家による麦の作付けが定着し、ブロックローテーションによる栽培が確立しています。果樹や花き、野菜の作付けも取り組まれています。稲作に比べるとまだ少なく、今後これらの作物の導入をさらに進める余地があります。

農業経営は稲作を中心に行われており、農地中間管理事業を活用して認定農業者への農地集積・集約が進められています。しかし、農業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、農業の持続的発展のためには、農地集積の加速と新規就農者の確保がさらに重要となります。近年、農事組合法人が設立され、農業の効率化や新たな担い手の参入が期待されています。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

朝日町では、シクラメンやアジサイなどの高収益作物を地域の特産品として認定し、ふるさと納税の返礼品として活用しています。栗も特産品として認定しており、作付け面積も増大しました。新植から数年しか経過していないため、収穫・出荷には至っていませんが、今後の発展が期待されます。小麦については、ブロックローテーションを維持しつつ、収量や技術の向上を目指します。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

朝日町の水田はほとんどが稲作中心ですが、有効利用に向けて、栗(果樹)や麦(転作作物)の導入が進んでいます。今後は、稲作や麦作に適さない水田を果樹栽培に転換する可能性を視野に入れ、畑地化の推進を検討していきます。これにより、農業経営の多様化と効率化を進め、地域農業の持続可能な発展を支えます。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

朝日町では、主食用米としてコシヒカリが中心に栽培され、一部では三重県ブランド米「結びの神」やミルキーQueenなども生産されています。コシヒカリは町内の小・中学校や保育園の給食にも使用され、地域での評価も高いです。

慣行栽培が主流ですが、一部の農家では化学農薬節減栽培米にも取り組んでいます。今後は、農家の取り組みを支援し、ブロックローテーションを維持しつつ、需要に応じた作付け支援を行っていきます。

(2) 備蓄米
取組なし。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米
取組なし。

イ 米粉用米
取組なし。

ウ 新市場開拓用米
取組なし。

エ WCS 用稲
取組なし。

オ 加工用米
取組なし。

(4) 麦、大豆、飼料作物

朝日町では、小麦が栽培されており、ブロックローテーションにより、一定の作付け面積が確保されています。収量や品質向上に向けて、土壌改良、畝立て播種、深耕体系、赤かび防除など、栽培技術の向上に取り組めます。

(5) そば、なたね
取組なし。

(6) 地力増進作物
取組なし。

(7) 高収益作物

シクラメンやアジサイ、栗など地域の特色ある農産品については、作付け・生産の維持拡大を検討します。そのほか、水田を活用した野菜や果樹、花き、花木など需要のある作物についても、作付け定着を促進し、地域農業の維持的発展を推進します。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	38.6	0	34.0	0	30.6	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	3.4	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	32.0	0	39.5	0	39.5	0
大豆	0	0	0	0	0	0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	1.71	0	2.21	0	2.21	0
・野菜	0.09	0	0.14	0	0.14	0
・花き・花木	0.39	0	0.39	0	0.39	0
・果樹	1.23	0	1.68	0	1.68	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
・〇〇	0	0	0	0	0	0
畑地化	1.40	0	1.40	0	1.40	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	小麦（基幹作物）	小麦の単収向上	取組面積	（7年度産） 31.96ha	（8年度産） 39.5ha
			単収向上	（7年度産） 270kg/10a	（8年度産） 370kg/10a
2	別表で指定した高収益作物	高収益作物助成 （地域振興作物）	全体取組面積	（7年度産） 1.71ha	（8年度産） 2.21ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:朝日町地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	小麦の単収向上	1	1,800	小麦(基幹作物)	・ブロックローテーションに取り組む担い手(※担い手とは認定農業者又は人・農地プランに掲げる中心経営体を指す。) ・土壌診断を活用した適正量の土壌改良剤による土壌改良、赤かび防除2回以上及び施肥量チッソ13kg/10a以上を実施する。冬季に1回以上麦踏みを行う。 ・出荷・販売されていること
2	高収益作物助成(地域振興作物)	1	20,000	別紙で指定した高収益作物	経営所得安定対策等実施要項別紙1に定める交付対象水田で対象作物を出荷・販売すること。ただし、花木及び果樹の永年性作物は新植以降が対象であり、必ずしも出荷販売を要件としない。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別表)令和8年度 高収益作物の取組品目 朝日町地域農業再生協議会

野菜	アスパラガス、イガムラサキ、イセイモ、インゲン(青さや含む)、ウリ(しろ・まくわ・にが)、エダマメ、エンドウ(グリーンピース、青さや含む)、オクラ、カブ、カボチャ、甘藷(さつまいも)、キヌサヤ、キャベツ、キュウリ、小松菜、ゴボウ、サトイモ、シソ、ジャガイモ、ショウガ、スイカ、セリ、ダイコン、タカナ、タマネギ、チンゲンサイ、漬け菜類(アサマコナ等)、トウガラシ(シシトウ含む)、トマト、ナス、菜っ葉、ナバナ、ニラ、ニンジン、ニンニク、ネギ(白ネギ、葉ネギ)、ハクサイ、葉ショウガ、パセリ、ヒノナ、ピーマン、ホウレンソウ、ソラマメ(成熟・未成熟)、ミズナ、ミツバ、ミヨウガ、モロヘイヤ
果樹	イチジク、ミカン・レモン・ユズ(中晩柑含む)、ウメ、カキ、クリ
花き	アガパンサス(ムラサキクンシラン)、アスター、アスパラ(切葉用)、イキシア、オオツムギ、オーニソガラム、ガーベラ、カーネション、カラー、キク類、キンギョソウ、グラジオラス、サンゴミズキ、シクラメン、シャクヤク、スイートピー、ストック、スターチス、セントポーリア、ダリア、ツルムラサキ、トルコギキョウ、ハナショウブ、ハナモモ、葉牡丹、ププレウム、フリージア、ホオズキ、ラン類、切花用母樹、花苗(パンジー等)、観葉植物(ヘデラ等)、鉢花(ゼラニウム等)
花木	アジサイ、アベリア、サカキ、サツキ、サンゴミズキ、シキミ(シキビ)、シャクナゲ、セスバニア、ツゲ、ツツジ、ツバキ、ナンテン、ハナミズキ、マキ、モクセイ、モクレン、モッコク、低木(常緑・落葉)、中高木(常緑・落葉)